





ご愛用時計の定期メンテナンスの重要性

多くのスイス製高級時計は時の試練に耐えられるように設計、製造されております。最適なお手入れを定期的の実施されていれば何世代にも渡って美しく正確な時を刻み続けることも可能です。メンテナンスの頻度はご使用状況や保管状態等によって変化いたしますが、一般的にクォーツ（電池式）時計で6年から8年、機械式（ゼンマイ式）時計で4年から6年のメンテナンスサイクルが推奨されております。

オーバーホールとは

オーバーホールとは、時計が正常に動作し本来有する機能を保持し続ける為に行うメンテナンスサービスの事です。ムーブメントの構成部品は多いもので300点から400点にもなります。それらの一つ一つを丁寧に分解して洗浄・注油、劣化パーツの交換と精度調整などを行い、本来の精度、機能を取り戻す一連の作業のことを指します。定期的なオーバーホールを受けずにお使い続けられますとパーツの摩耗、損傷により精度不良・故障のリスクが高まります。こうした事態を未然に防ぐサービスがオーバーホールです。スイスタイムワークスではオーバーホールを実施した時計を納品日から起算して現行モデルでは業界最長の2年間、アンティークモデルは6ヶ月間の保証を致しております。

オーバーホールの流れ

01  
ケースの分解



ストラップやブレスレットをケースから取り外し、ケースを分解します。精密な顕微鏡を使用して不具合箇所の特定と調整を行い、摩耗パーツの有無などを調べます。

02  
ムーブメントの洗浄



ムーブメントの部品を一点一点丁寧に分解、点検し、各部品を専用設備と環境に配慮された溶剤を用いて金属粉、油塊などの汚れを綺麗に洗い流します。

03  
ムーブメント組立、注油



洗浄後、ムーブメントパーツを一つ一つ再検査し、ムーブメントを組立、注油します。メーカーによって使用する潤滑油の種類、注油量および注油ポイントなどが異なる為、メーカーの技術仕様に基づいて細心の注意を払って慎重に組み立てます。この作業により、ムーブメントは長期にわたって正確に機能します。

04  
精度測定と調整及び機能点検



メーカーの品質基準に照らし合わせて、ムーブメントの精度を調整し、各機能を点検します。

05  
ケースとブレスレットの洗浄、研磨



06  
ケースの組立と防水性の回復



分解されていた外装部品を再び組み立て、パッキンを交換します。

07  
ケーシング



ムーブメントに文字盤、針などを取付け、動作確認をした後、それらをケースの中に組み込み、再び精度の点検と細部の調整を行います。

08  
最終検品



それぞれの時計の品質基準に基づき、最終検査を行います。自動巻きの巻き上げテスト、リュース操作点検、クロノグラフの作動テスト、持続時間テスト、精度の日差点検などを行い最終的にランニングテストを行ってお客様の元へ出荷いたします。





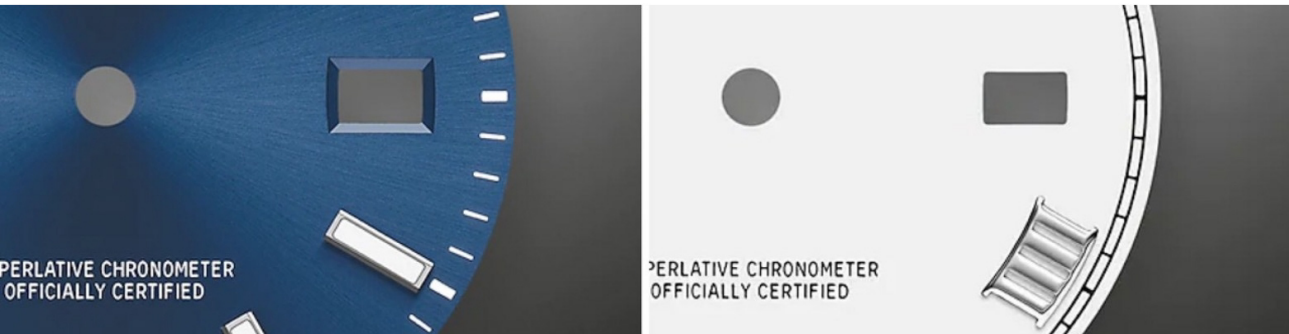
部分修理 (Part Jobs)

価格	¥5,500 + パーツ料金
納期	通常1週間～4週間程度

日々の業務を行う中でお客様から様々なご依頼、ご要望を賜っております。  
リュースが破損した又は紛失した、ガラスが割れたりヒビが入った、プッシュボタンが取れた、回転ベゼルが回らなくなった、中には固定ベゼルが衝撃で飛んで行ってしまった... などの不慮の事故でお客様の大切な時計に何らかの部分的な損傷が発生する場合がございます。

スイスタイムワークスでは海外でのスイス時計業界で勤務経験を得たスタッフによる特別な部品供給のネットワーク、サプライチェーンの構築を実施してまいりました。  
主にアメリカ、イギリス、スイス、フランス、ドイツなどの現地業者からブランド時計の純正部品を独自ルートにて入手することが可能です。

クリスマス、年末年始などの繁忙期を除けば比較的早く入手することが可能ですのでメーカーに修理依頼を出すよりも早く、しかも低価格でのメンテナンスが可能です。



文字盤交換 (Dial Exchange)

価格	¥18,000～
納期	通常3日～5日

ロレックスのオーナー様からよくご依頼を受ける文字盤交換。

「長年の使用で飽きがきた」  
「定期的に2,3枚の文字盤を交換して気分転換している」  
「息子に時計を譲りたいが今のカラーでは...」

文字盤の交換をご希望の方、新規での購入をご希望の方もお気軽にお問い合わせ下さい。



文字盤再生 (Dial Restoration)

価格	¥26,000
納期	3か月目安

紫外線や湿気などの影響による文字盤の退色、くすみ、塗膜の剥離や夜光インデックスの脱落などの経年劣化は腕時計を長年ご使用になられる上で避けては通れない現象なのかもしれません。このように劣化した文字盤を完全に新しく再生する手法がダイアルリストラーションまたはリダンと呼ばれるます。

「文字盤の変色、塗装剥がれが気になる」  
「購入した時のように新品状態に戻したい」  
「そもそも時計が古すぎて、オリジナル文字盤が入手できない」  
「文字盤の料金が高すぎる」  
「文字盤の色合いを全く違う物にしてみたい」 など

文字盤の再生でお悩みでしたら、ぜひお気軽にご相談下さい。  
※文字盤再生後、メーカーでのメンテナンスが受けられなくなります。  
※専門職人による一点一点の作業になりますので納期は通常3か月程度となります。  
※メーカー、モデル、文字盤の状態、お好みの色などによって金額は変わってきます。  
※料金はお断りなく変更することがあります。



レーザー溶接修理

価格	¥13,000 (1か所)
納期	2週間

時計に無理な力が働いたり、金属疲労などで溶接されているバックルやクラスプの接合部の破断、プレスレットのピンの抜け落ちなどをレーザー溶接機を使って綺麗に再接合することができます。



’電池交換’ プレミアムメンテナンス

2～3年に一度、電池の交換が必要なクォーツ式の時計。  
街の時計店、量販店の一部では時計の知識や技術を持たない作業者が専用工具などを使用せず電池交換をすることによる様々なトラブルが生じています。  
ケースを滑らせて傷を付けたり、誤って電子回路のコイルを切断したり、電池を固定するクランプを破損させたり、サイズ違いの電池を入れて文字盤にダメージを与えてしまったといった事が聞かれます。  
スイスタイムワークスではただ電池を交換するだけではなく、お客様の時計の状態、動作状況、機能などを同時に点検させていただき、交換後もランニングテストをしっかりと行った上で、その後も問題なくご使用できる状態でお渡しするように心掛けております。

電池交換、メンテナンスの流れ  
(Battery replacement & reseal)

価格	¥3,500
納期	2～3日

01



防水テスト  
(Water resistance test)

時計の裏蓋を開封する前に、現状の防水性のテストを行います。  
乾式の空気圧検査装置でそれぞれの時計の防水機能に定められた空気圧を掛けて、時計内部の圧力の状態を計り防水性をチェックします。  
規定の防水性を満たさない場合は、パッキン交換などの処置が必要となりますのでお客様にご提案を致します。

02



リューズ、プッシュボタン操作点検  
(Functional checks)

時計の重要な外装部品であるリューズやプッシュボタンなどを操作して、針廻し点検、カレンダー切り替え操作などの簡易的な点検を行い、時計の機能に異常がないか確認します。

03



裏蓋開封  
(Caseback opening)

時計の裏蓋の取付方法はネジ式のスクリューバックケースやはめ込み式のスナップオンケースなど種々のタイプがあり、それぞれの形式にあった専用機器を使用して、時計の裏蓋を慎重に開封します。

04



電子回路の精度、電気特性点検、脱磁処理  
(Accuracy checks, Electronic module tests, Demagnetisation)

電池を外した状態もしくはケースからムーブメントを外した状態でクォーツ時計専用テスターを使用して電子回路に通電し、様々な電気特性のテストを実施します。  
メーカー基準値を超える消費電流などを検知した場合など、お客様へのオーバーホールのご提案を致します。また残留磁気の検査を行い、必要に応じて脱磁処理します。

05



電池交換、パッキン類のグリースアップ、ケース周りのクリーニング、裏蓋締込み  
(New battery installation, Greasing up gaskets, Cleaning and Closing up caseback)

専用プラスチックピンセットを用いて時計、ムーブメントに適合した新しい電池をゴミの混入などないように注意を払って交換します。  
裏蓋に付いた皮脂、ホコリなどの汚れを綺麗にクリーニングし、同時に裏蓋とリューズのパッキンに専用グリースの塗布を行い、防水性を更に高めます。  
裏蓋を規定のトルクにて締め込みます。

06



リューズ、プッシュボタン操作確認及び時刻とカレンダーの設定  
(Re-examination of function checks & Setting time and calendar)

時刻とカレンダーの設定を行いながら、改めてリューズやプッシュボタンの再点検を行い時計の正常運針、基本機能の確認やクロノグラフの機能チェックを行います。

07



防水テスト、ランニングテスト及び最終点検  
(Re-examination of water resistance test, 24 hour running test, Final inspection)

すべての作業が完了後、再び防水性の確認テストを実施し、更に24時間のランニングテストですべての機能を確認してからお客様のもとにご返却致します。

※ 特殊モデル、電波、ソーラーバッテリータイプなどはメーカーでの修理となります。